

令和6年度 平野区運営方針の振り返り 【説明資料】

令和7年5月29日

平野区運営方針の振り返りにあたって

将来ビジョンと運営方針の関係性

将来ビジョン

→ 区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての**区のめざすべき将来像、将来像の実現に向けた施策（まちづくり）の推進の方向性等**をとりまとめ、区民の方々に明らかにするものです。

➤ 平野区のめざす将来像

笑顔輝くまち ひらの

➤ 将来像の実現に向けた施策（まちづくり）の方向性

経営課題 1

安全・安心のまちづくり

- ・ 地域防災力向上に向けた支援
- ・ 地域防犯力向上に向けた支援
- ・ 地域活動力向上に向けた支援
- ・ まちの魅力の向上に向けた未利用地の有効活用



経営課題 2

みんなで支えあう福祉のまちづくり

- ・ 各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の充実
- ・ 地域における支えあい活動への支援



経営課題 3

こどもが元気で育つまちづくり

- ・ 児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援
- ・ こどもの学習意欲の向上
- ・ こどもたちへのサポートや学校生活の定着支援



運営方針

→ 将来ビジョンで示された施策展開の方向性に従って**年度ごとの施策・事業の取組みを明らかにする**単年度ごとのアクションプランのことを言います。

課題認識

災害時に住民同士で防災活動が行えるよう「自助・共助」を推進するために、地域でのつながりを深めることが重要である。

主な戦略（課題解決の方策）

地域住民などが参加する自主防災組織の主体的な活動支援

アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）

年度	指標	実績	目標
4年度	防災意識が高まったと感じる割合	70.8% (順調でない)	区民モニターアンケートで令和7年度末までに85%以上
5年度	自主防災組織主体の地域防災活動(防災訓練・防災イベントなど)の実施地域数	21地域 (達成)	全23地域の内、 令和5年度:17地域、 令和6年度:20地域、 令和7年度:23地域
6年度		22地域 (達成)	



【地域での防災訓練】



【学校での防災訓練】

自己評価

自助・共助の重要性を理解してもらうため、平野区防災シンポジウムを開催し、令和6年能登半島地震を踏まえて、平野区におけるリスクを踏まえた防災啓発を行った。また、各種防災情報の発信や大和川氾濫時の浸水深表示の取組などの啓発活動を実施した。さらには、防災リーダーの連絡会議や講習を開催し、防災知識・技術の向上を図るとともに、消防署と連携して地域防災訓練の実施支援を行った。

（取組実績）

- 小中学校で実施する防災の取組 18回
- 地域での防災訓練 16回
- 防災リーダー連絡会議 2回
- 大和川氾濫時の浸水深表示
- 各種防災情報の発信



今後の方針

地域住民が「自らの命は自らが守る」との意識を持ち、災害時に適切な避難行動ができるよう情報発信や防災訓練の実施支援などの取組を継続し、地域防災力の向上に取り組む。

経営課題1

安全・安心のまちづくり

【地域防犯力の向上】

課題認識

住民と関係機関が連携し、地域ぐるみで防犯に取り組む必要がある。

主な戦略（課題解決の方策）

地域全体で犯罪を発生させないような環境づくりの推進

アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）

年度	指標	実績	目標
4年度	防犯意識が高まったと感じる割合	62.8% (順調でない)	区民モニターアンケートで令和7年度末までに80%以上
5年度	地域と関係機関の協働による特殊詐欺被害防止の啓発活動の実施回数	19回 (達成)	令和7年度末まで毎年度5回以上
6年度		23回 (達成)	



【大阪府自転車軽自動車商業協同組合
平野支部と連携した自転車盗啓発】



【平野警察署との合同防犯キャンペーン】

【地域防犯力の向上】

自己評価

地域や警察等と連携して防犯パトロールや防犯キャンペーン活動を実施した。とりわけ、近年増加している特殊詐欺被害防止に向けて、様々な機会において積極的に啓発活動を行い、特殊詐欺被害防止機器の無償貸与等に取り組んだ。

（取組実績）

- 防犯カメラの設置 11台
- 民間企業と連携した自転車盗啓発 3回
- 地域住民との合同パトロール 40回
- 平野警察署及び地域住民との合同防犯キャンペーン 13回
- 犯罪発生場所の職員によるパトロール強化 7回
- 特殊詐欺被害防止機器（自動通話録音機）の無償貸与 141台



今後の方針

犯罪発生を抑止するために地域や警察と連携した啓発活動や地域の実情に応じた防犯カメラの設置、特殊詐欺被害防止等の取組を継続し地域防犯力の向上に取り組む。

経営課題1

安全・安心のまちづくり

【地域活動力の向上】

課題認識

地域活動協議会の自律運営のため、地域の実情に即した支援を行う必要がある。

主な戦略（課題解決の方策）

- ◆ まちづくりセンターを活用した地域活動協議会の支援
- ◆ 地域の緑化推進による幅広い年齢層の交流支援

アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）

年度	指標	実績	目標
4年度	地域活動協議会を知っている方のうち活動に参加したことがある及びしようと思っている割合	39.7% (順調でない)	区民モニターアンケートで令和4年度末以降継続的に70%以上
	地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合	86.3% (順調)	構成団体へのアンケートで令和5年度末までに90%以上
5年度	地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合	90.6% (達成)	令和7年度末までに構成団体へのアンケートで90%以上
6年度	地域活動の新たな担い手の発掘、育成につなげるため、「種花事業」で育てた花苗の配布地域数	23地域 (達成)	令和6年度以降継続的に区内23地域

自己評価

各地域の活動について平野区ホームページやXなどで紹介した。
まちづくりセンターを活用し、地域活動協議会が自ら発行する広報誌の作成支援や地域情報の広報を行った。

（取組実績）

- 広報紙やInstagramなどで地域活動協議会の広報活動を支援
広報紙12地域、ブログ10地域、Instagram8地域ほか
- 財政的支援のほか、中間支援組織を活用した会計処理や
広報活動など自立に向けて支援



今後の方針

まちづくりセンターを3年間の長期契約とし、自律的な地域運営・地域活動の活性化を促し、地域の実情に即した途切れることのない支援が展開できるよう取り組んでいく。

課題認識

区内には、多くの未利用地(53か所、約21ha(R5.8月時点))がある。

主な戦略（課題解決の方策）

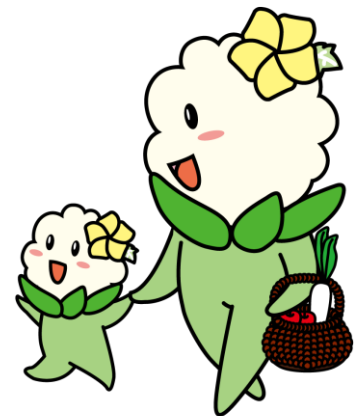
区民ニーズなどを踏まえた未利用地の有効活用

自己評価

長吉地域東部、その他の未利用地について売却を推進した。

（取組実績）

- 区民アンケートによる意見聴取の実施
- 長吉ウェルカムタウン計画の振り返り内容の推進
- 区内未利用地の売却を推進



今後の方針

引き続き区民ニーズなどを踏まえたうえで、未利用地の有効活用を行い、魅力あるまちづくりを推進していく。



【未利用地イメージ】



【長原駅前用地開発イメージ】

課題認識

- 多様な生活課題を抱える方々が孤立することなく、住み慣れた地域で互いに支えあいながら暮らし続けていけるよう、「住民同士のつながりづくり」「地域全体での見守りの充実」「たくさんの人や関係団体が連携・協力できる地域活動のネットワークづくり」のための地域特性に応じた支援体制が必要である。
- 将来にわたり高齢化率が高い状態で推移すると予想されることから、健康寿命の延伸を図るための取組を広げる必要がある。

主な戦略（課題解決の方策）

- ◆ 平野区を取り巻く様々な福祉課題に対し、「平野区地域保健福祉計画(第3期)」に沿って中長期的視点で安定的かつ継続的に取り組む
- ◆ 「地域福祉活動コーディネーター」が地域の福祉活動の担い手とともに、各地域において専門支援機関などとの連携を図りながら見守りや相談ができる体制を機能させる
- ◆ 健康寿命の延伸を図るための運動習慣や、認知症の発症予防(遅延)及び認知症を発症しても住み慣れた地域で安心して過ごせる取組の支援

アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）

年度	指標	実績	目標
4年度	子育てや家事・介護、仕事のことなど生活の困りごとや悩みがあるとき、相談できると感じる割合	69.3% (順調)	区民モニターアンケートで令和7年度末までに60%以上
5年度	地域福祉活動コーディネーターが関係機関と連絡調整した活動件数	29.6件 (達成)	令和5年度以降継続的に1地域あたり月平均25件以上
6年度		34.1件 (達成)	

みんなで支えあう福祉のまちづくり

【地域福祉力の向上】

自己評価

地域からの相談が増加・複雑化するなか、専門支援機関等と連携を図り、地域の窓口として中心的な役割を担い、地域福祉力の向上に貢献した。

健康寿命の延伸を図るための介護予防活動への支援として、いきいき百歳体操サポーターの養成や、認知症予防や認知症の理解のための健康講座を実施した。

(取組実績)

- 各地域の課題抽出や分析を行い、地域の福祉活動への支援など 5地域
- 各地域のデータを分析し課題解決のための支援を実施 19地域
- 地域の特性に応じた緩やかな見守りについて、連絡会等で共有・情報発信
- 地域における「いきいき脳活サポートマニュアル」等を用いた取組 75か所
- いきいき脳活検討会(5回)、認知症予防講演会・講座 (10回)を実施
- いきいき百歳体操 継続箇所 52か所
- いきいき百歳体操 サポーター養成者数 21人



今後の方針

地域福祉活動コーディネーターが様々な地域活動に関わりながら、新たな担い手の発掘・育成にも力を入れることで地域福祉力の向上をめざす。

健康寿命を延伸し、地域と企業や大学、関係団体との更なる連携に向け、「ひらの百歳☆きらめき講座」を継続して実施する。

認知症の理解や認知症予防のための健康講座を実施する。

課題認識

- 「重大虐待ゼロ」をめざし、「未然防止」「早期発見」「早期対応」の3つの観点から体制を充実させる必要がある。
- 複合的な問題を抱えている子育て世帯も多いことから、学校における教育分野の支援と区役所における保健福祉分野の支援を連携し、総合的な支援を実施する必要がある。

主な戦略（課題解決の方策）

- ◆ 児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援
- ◆ 複合的な課題を抱える子育て世帯に対する総合的な支援と高校生活の定着支援

アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）

年度	指標	実績	目標
4年度	こどもサポートネット 支援対象者件数	323件 (順調)	令和4年度以降継続的に300件以上
5年度		357件 (達成)	令和5年度以降継続的に300件以上
6年度		307件 (達成)	

こどもが元気で育つまちづくり

【子育て支援の充実】

自己評価

虐待を未然に防止し深刻化させないために要保護児童等のアセスメント(分析・評価)を行い、支援が必要なケースに対しフォローを実施できた。

子育てしやすい環境をめざし、子育て中の親の孤立化を防ぐための情報発信や、支援者や団体とのつながりを深める場づくりに取り組むことができた。

複合的な課題を抱えるこどもやその世帯について、学校園、地域をはじめ関係機関等と連携しながら適切な支援制度等につなげた。

(取組実績)

- 要保護児童対策地域協議会実務者会議の定例開催やこどもサポートネット事業による支援を実施
- HPやLINE等、インターネットを利用した子育てに関する情報発信の充実 月5回以上更新、子育て情報誌の発行
- 子育て支援者向けのスキルアップ講座を開催
- 地域連携会議の開催 22か所実施
- 支援が必要な高校生への個別支援 年間29件
- 高校生支援に関する検討会議やフォーラムを開催



今後の方針

児童虐待を未然に防止するためには、引続き、ハイリスク妊婦や乳幼児健診未受診者の把握をはじめ、要保護児童等とその世帯へのタイムリーな支援を粘り強く継続する必要がある。

子育てしやすい環境をめざし、情報発信をはじめ、複合的な課題を抱える児童及びその世帯に寄り添う支援を継続する必要がある。

また、複合的な課題を抱える高校生が増加しており、卒業に向けた支援と福祉的な支援のバランスに留意しながら、卒業後も途切れることのないよう、関係機関と連携した支援を継続していく。

経営課題3

こどもが元気で育つまちづくり

【こどもの学習意欲の向上】

課題認識

こどもたちが経済的な理由や家庭環境に左右されることなく、魅力や個性を伸ばし、学習習慣の定着を通じて「生きる力」を身につけることができるよう、こどもたちの学びを支援する必要がある。

主な戦略（課題解決の方策）

読書運動や清掃活動など、様々な活動に対する表彰や学力サポート事業を実施

アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）

年度	指標	実績	目標
4年度	学校に行くのは楽しいと感じる生徒の割合	76.4% (順調)	全国学力・学習状況調査で令和7年度末までに76%以上
5年度		76.6% (達成)	
6年度		76.9% (達成)	



【令和6年度 区長表彰】

こどもが元気で育つまちづくり

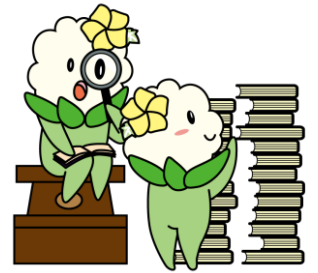
【こどもの学習意欲の向上】

自己評価

読書ノート的目標到達者率は小学校で25.3%であり、令和2年度以降は約4人に一人が目標に到達し表彰されている。少なかった中学生の到達率も、提出方法書類の配布や記念品の改善などもあり、4.6%と、過去最高の数字となり、読書ノートは平野のこども達に定着しつつあると考えている。

(取組実績)

- 読書ノートを区内の市立幼小中学の児童・生徒に配布
- 読書ノートを活用し、一定水準を超えた児童・生徒を表彰
- がんばる小・中学生について個人及びグループを表彰



今後の方針

引き続き、がんばる小学生・中学生表彰など、こどもたちが様々な活動を通じて、学校生活を楽しいと感じられるよう、学校と連携し取り組みを継続していく。読書ノートについても、引き続き学校や児童・生徒の意見を参考に、取り組み周知の充実や到達記念品の見直し等を行い、表彰者数・表彰率のより一層の向上を図っていく。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

持続可能でよりよい区政の実現のために、
委員の皆様からのご意見をお願いします！



ひらの
SDGs